

シリーズ

協働のまちづくり

協働のまちづくり

問合せ
町民生活課自治推進班
TEL 6985

今年1月に『協働のまちづくり基本指針』ができました
今回は、協働に期待される効果についてお知らせします

協働に期待される効果

協働のまちづくりが進むことで、さまざまな効果が期待されます。

今回は3つの組織をとおして、協働が進むことでどんな効果があるのか説明します。

1 町民・地域コミュニティ(住民会・町内会など)

さまざまな活動に参加することは、多くの人と交流することになります。

それによって、知識が高まり、自己研さんにつながります。人との交流やさまざまな体験が面白いと感じたり、人に頼られたり、評価されたりすることで、生きがいにつながっていきます。

また、地域の課題に気づき、自分たちの地域を良くしよう、町を良くしようとまちづくりに関心を持つことで、地域を活性化することができます。

住民会・町内会などは地域の実情に詳しいという特性を持っています。そ

の特性を生かし協働することにより、町民のニーズに合った、きめの細かい柔軟な公共サービスが受けられるようになります。



【東明住民会：地域親子ふれあい交流会】

町民・地域コミュニティの人々は、行政との協働で、まちづくりに関するさまざまな情報を得たり、補助金などの形で活動資金の支援を受けたりする

ことで、自分たちの活動を広げていくことができます。
また、自分たちの活動が町民に理解され、共感を得て、評価されることでやりがいにもつながっていきます。

2 町民活動団体(ボランティア団体・NPOなど)

町民活動団体は、活動する目的や理念を持って集まった人々なので、特定の分野に高い専門性を持っています。

行政との協働で、まちづくりに関するさまざまな情報を得たり、活動場所の提供を受けたり、補助金などの形で財政的な支援を受けたりすることで、自分たちの活動の目的や理念を達成することができます。



【除雪ボランティア】

行政との協働で、活動の幅が広がるとともに、活動などが公開されることで、多くの人の理解や共感を得られ、評価が高まることで参加者や賛同者が増加し、組織の充実と強化、活動の活性化が図られます。

特に新しい団体にとっては、協働の経験、実績を蓄積することにより、社会的な信頼性を高める効果もあります。

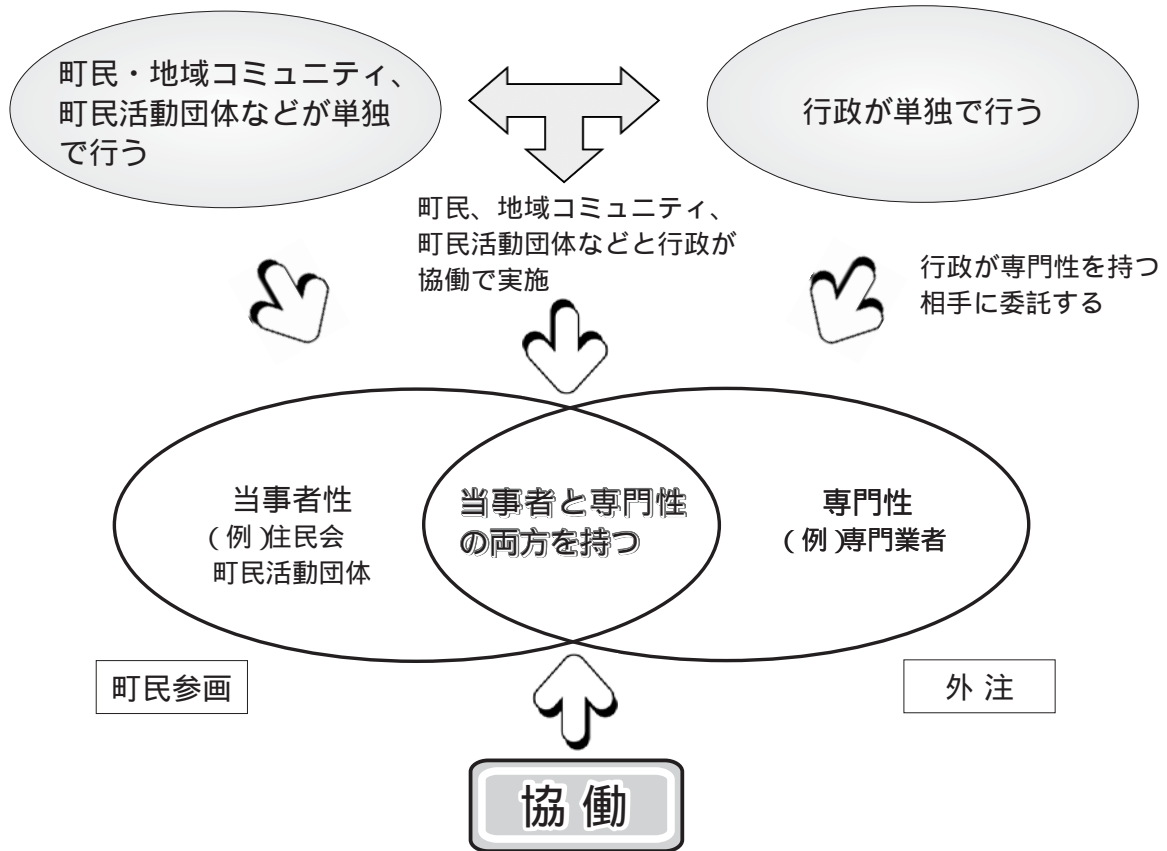
3 行政

地域の実情に詳しい住民会、町内会、得意分野や高い専門性を持つボランティア団体やNPO法人と協働することにより、多様化する町民のニーズにきめ細かく対応し、ニーズに合った、より質の高い公共サービスを提供できます。

さらに、これまで行政では考えつかなかった新たな発想、発見が期待されますし、町民の持つ行動力が行政組織の活性化を促すことも期待されます。
また、町民と行政お互いの理解が深まります。

これまでの事業の実施方法や新たな事業の実施方法を一つひとつ町民と見直していくことにより、行財政運営の効率化が図られます。

協働のイメージ図



これからの協働

上の表は、協働のイメージ図です。
 町民・地域コミュニティ、町民活動団体が地域に住む当事者であることと、自分たちの持つ専門性の二つを生かして、行政と協働することを表しています。

町民・地域コミュニティ、町民活動団体が地域の課題に気付き、解決しようとするのが地域を活性化することになります。

また、普段から地域で取り組んでいる活動の中にも協働といえるものは多くあります。児童の見守りや交通安全パトロール、声かけ訪問、環境美化活動などです。

難しく考えることなく、身近なことから取り組んでいく、これが協働のまちづくりの第一歩です。

